

## 院内保育園きららハロウィンを行いました

近頃、日本でも徐々に広がりを見せているハロウィン。そもそもハロウィンって…？

10月31日の夜、かぼちゃをくりぬいた中に蝋燭を立てて、魔女やお化けに仮想した子供達が近くの家を1軒ずつ訪ねては「Trick or treat (お菓子くれないと、いたずらしちゃうよ)」と唱え、訪ねられた家は「Happy Halloween!」とか「Here you go!」とか答えお菓子を渡すというものです。

紀元前ヨーロッパに広く分布し、紀元前5～1世紀に活躍した古代ケルトの信仰では、冬の季節の始まりである11月1日が新年の始まりでした。そのため、10月31日が1年の終わりであ



り、この日の夜は、死者の霊が家族を訪ねたり、精霊や魔女が出てきたりすると信じられていました。そのため、家庭では、悪霊を追い払うためにお供え物をしていたのですが、いつしか、子供達がこのお供え物目当てに悪霊を真似て仮装し「Trick or treat?」と言いながら、近所の家をまわるようになったのです。これに因んだのがハロウィンです(諸説あり、その中の一つです)。現在の日本では、仮装祭りの様相を呈している気がしますが…。

院内保育園きららでも、平成26年10月28日に子ども達と先生が魔法使いなどに変装し、お母さんたちの職場を中心に院内を歩きました。

「お菓子くれないと、いたずらしちゃうよ～」といいながら、ちっちゃい魔法使いたちが各部署を回り、お菓子をもらいました。子どもたちのかばんの中もすぐにお菓子でいっぱいになりました!!みなのリクエストもあり、1歳になったばかりの子たちはベビーカーに乗りながら、少し大きな子たちは歩いてほとんど院内1周しました。

入院中の方だけでなく、職員も(職員のほうが?!)癒されました。

